



地域未来の持続的な社会基盤づくりに向けた研究拠点

未来社会工学開発研究センターは、地域未来の社会基盤づくりに向けて研究・社会実装を推進する本格的な産学官連携のオープンラボ拠点です。

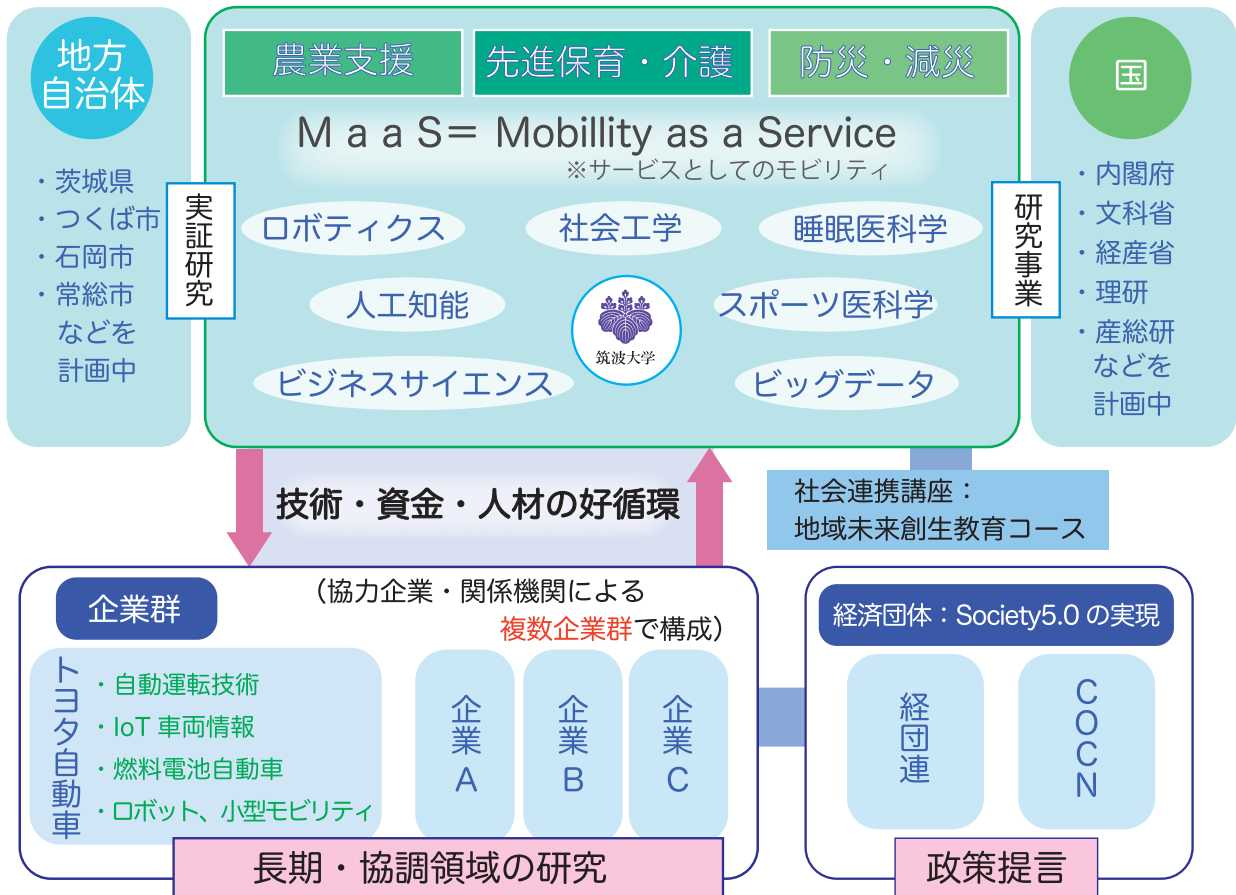
社会工学を核として、筑波大学の学際性と複数企業群による先進技術と自治体による実証実験の連動で地域の経済・社会課題解決へ具体的な政策提言と社会実装を促進します。なかでも、人と社会と自然が共生する地域未来の社会像を見据えて、全ての人々が地域差や個人差なく移動ができて、生き活きとした暮らしを実現する次世代自動車交通技術サービスを最重点研究します。また、研究拠点として、産々学々・広域連携を積極的に進めます。



高原 勇センター長

センターのミッション

地域未来の社会基盤づくりに向け、次世代自動車交通技術サービスを構築する



※開発研究センターとは…

外部資金を事業運営費として、社会的要請の高い学問分野での共同研究開発を積極的に推進し、産学官の共同研究体制を構築するため、平成 27 年 7 月 1 日より、順次創設されました。筑波大学のミッションである教育、研究、社会貢献のうち、社会貢献を担う新たな組織です。今後も新たな分野でのセンター増設を予定しています。